

9/7 鴨川府民会議 現地調査実施行程表

13:00 京都府庁東門北側に集合

①鴨川下流部左岸（龍門堰付近）

河川改修工事箇所を視察

②勸進橋～水鶏橋間 拠点整備箇所を視察（車中）

③三条大橋～御池大橋

被災箇所、ギャラリー等を視察

（三条大橋下車 御池大橋乗車）

④鴨川公園葵地区 整備予定箇所を視察（車中）

⑤柁野公園右岸側 土砂堆積状況等を視察

⑥鴨川上流域

台風21号に伴う倒木等による道路通行止のため中止

⑦北山大橋下流左岸 遊歩道試験舗装箇所を視察

「半木の道」の状況を視察

鴨川流域現地調査箇所

⑥鴨川上流部 【中止】

⑤柘野公園右岸



⑦遊歩道試験舗装



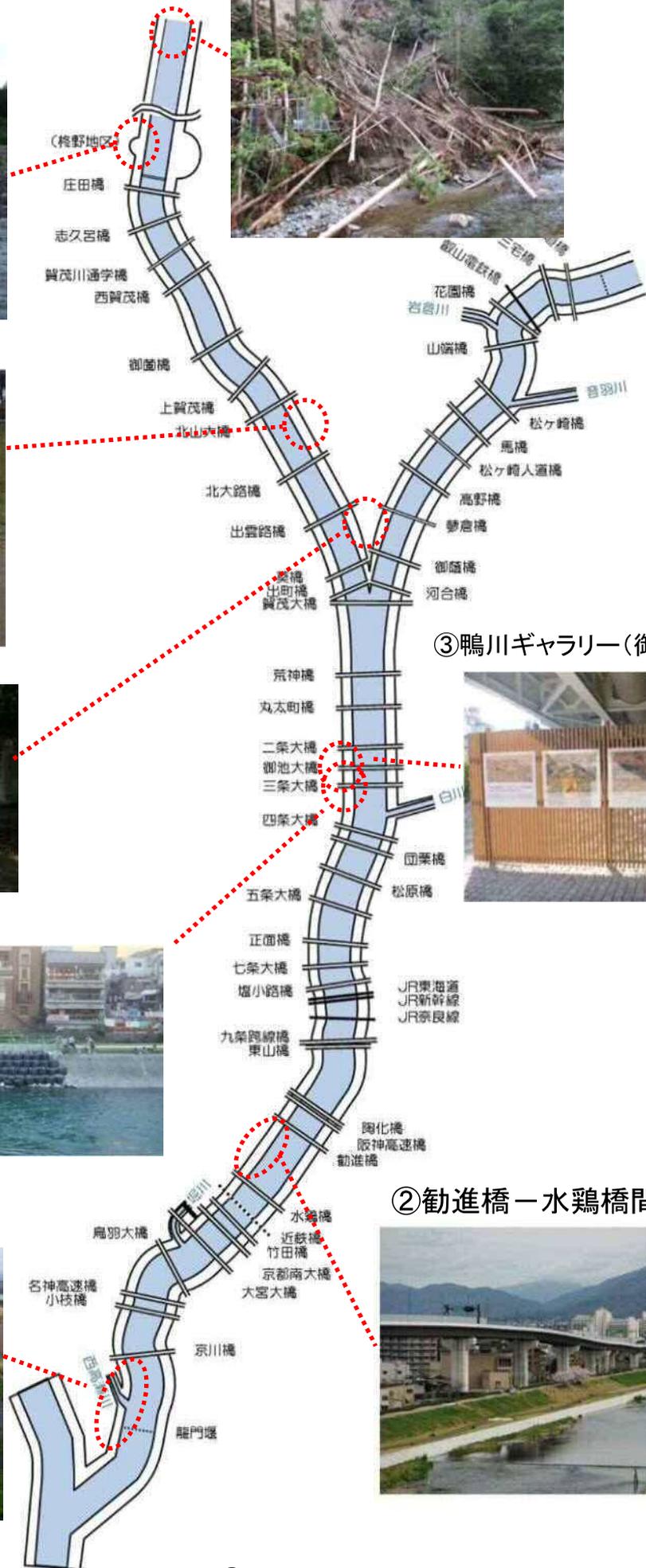
④鴨川公園葵地区



③三条大橋下流



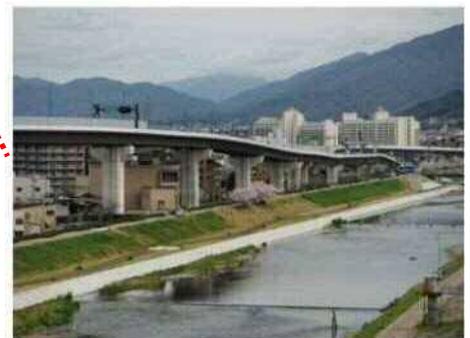
①鴨川下流部



③鴨川ギャラリー(御池大橋)



②勸進橋－水鶏橋間



○現場調査状況

鴨川下流部



三条大橋下流右岸(災害箇所)



御池大橋右岸(鴨川ギャラリー)



柁野公園



遊歩道試験舗装確認

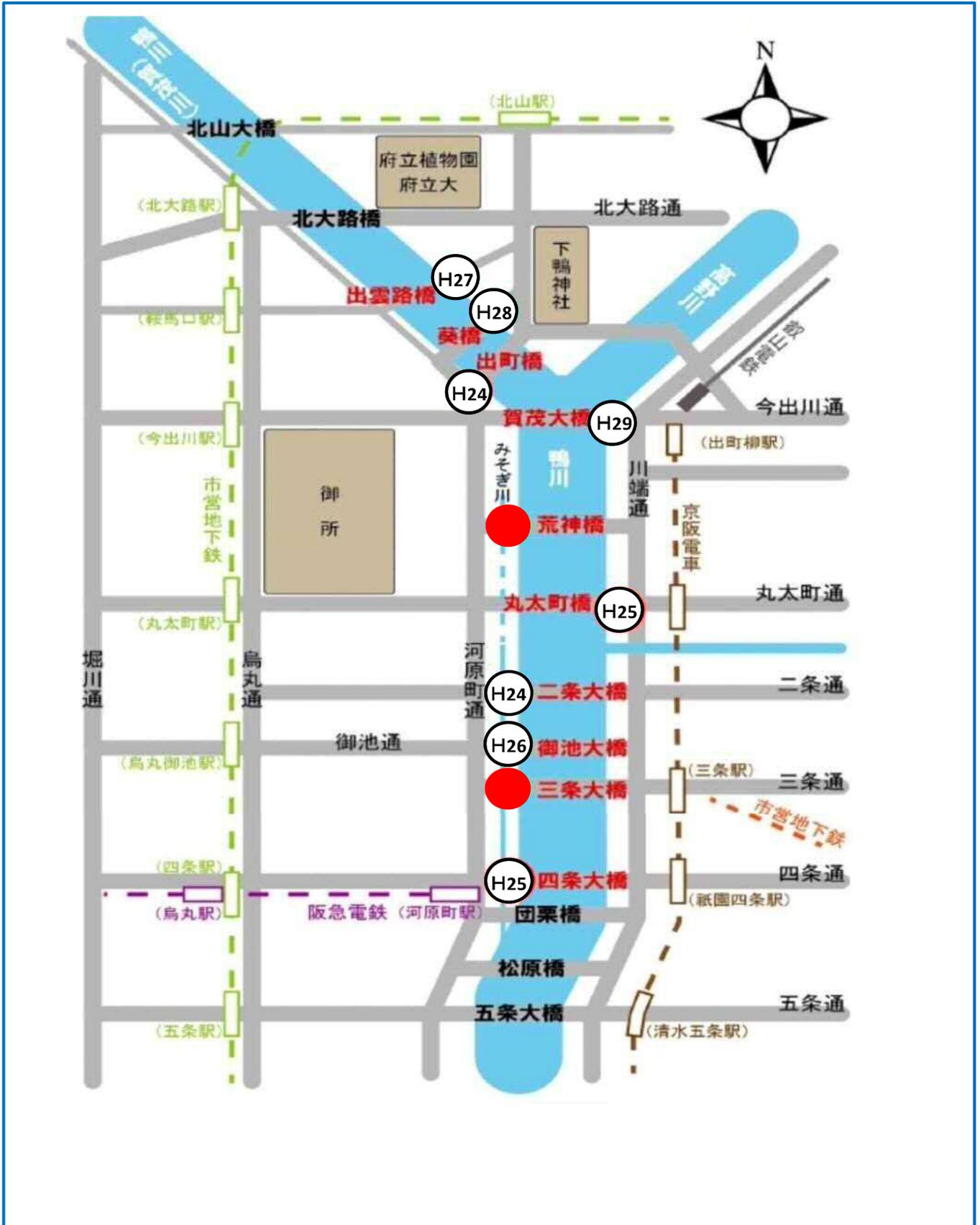


鴨川府民会議メンバー 18名参加



鴨川ギャラリー整備箇所について

整備箇所図



○台風21号の被害 半木の道

○被災直後



○桜棚等撤去後



○鴨川上流の状況

台風21号通過直後 倒木による道路閉塞



撤去済み

関西電力水管橋付近 山腹崩落



森林組合木材置場対岸 山腹崩落



鴨川本川 倒木状況



【集約】平成30年度 鴨川府民会議現地調査アンケート

1 鴨川下流部左岸 河川改修工事箇所

- 台風、地震、大雨の後の視察で護岸応急復旧の現場や倒木、浸水の様子等もわかり、とても有意義な視察でした。ただ、今後の視察の折にはハザードマップ等の事前勉強になる情報も頭に入れて視察する、より効果的な視察となったのではないのでしょうか。
- 河川改修場所の状況が良く理解できた。
- 鴨川と西高瀬川との合流箇所でもあり、増水時に備えて現流水場所の河床の掘削をしてはどうか。
- 私にとっては初めて最下流の龍門堰視察。よくアユの遡上などで出てくる地名。まだ工事中であったが早く改修され生態系に適した環境になることを期待。
- 地域住民が河川敷を有効利用出来るような施設。但し、増水時には流水を妨げない施設。
- 大変見晴らしの良い場所でしたので、今後高水敷をどのように利用するか興味が湧きました。
- 川の下流、常近づくことなく、昔のイメージから時間をかけ、長年の計により、今回の視察で随分と美的環境も含め改良されたことを感じた。
- 調査の日は台風後と雨で人がいませんでしたが、普段の人通りや利用はどのくらいあるのでしょうか。河川敷が広々していていいですが北山辺りと比べると閑散とした印象でした。
- 龍門堰が設置された頃、現地を見せていただき、効果的だとの説明を受けた。今後は、上流においても実施予定でしょうか？（大いに期待している）
- 河川改修については、様々な関係者と調整の上、実施に至ったことを改めて認識しました。
- 一日も早く完了し、安全な川へと実現していただきたい。そのためにも、府民へのこの工事の大切さをもっとアピールしていただきたい。
- 上流とは異なる緑豊かな広々とした景色と、堤防近くの低い住宅地が印象的でした。上流からの全ての流れを、この場所でしっかり受けて、桂川へと合流してゆく大切な場所で、災害の度に様々な整備がなされていることがわかりました。
- 下流部左岸周辺は、その広さゆえに、様々な可能性を感じました。今年の度重なる自然災害、異常気象を経て、そのせいか鴨川が真に力強い河川となるには、目に見える緑化整備等も大切でしょうが、この下流部の安全、確実な整備こそ急務なのではと思いました。専門家の方々のしっかりとした裏付けのある見識をもとに、想定外を想定して整備を進めていただきたいです。今回いちばん気になり、また今までの鴨川に対する認識が大きく変わった場所でした。

2 勸進橋～水鶏橋間 拠点整備箇所（車中視察）

- バス移動での視察でざっと見た。一度遊歩道を歩いてみたいと思った。
- ほとんど、行くことのない場所であり、歩いて視察ができれば良かったです。ハード面で整備されたこともあり、今後はソフトの面でも整備されて、市民の憩いの場所となるように願うところです。また、この地域のイベント等の開催もされてアピールして頂きたいと存じます。
- 非常に良い環境になったと思うが地域住民との連携でもっと人々が集まり、地域で良好な河川環境を推進する計画を考えてはどうか。
- 右岸に植樹された桜や木々の維持管理はなされているのですか？
- 桜並木やベンチと整備された遊歩道が綺麗でした。見通しがよく安心して人が通行しようという気持ちになると思います。外灯はどのようなのでしょうか？
- 車中からの視察で説明はしていただいたのですが、いまいちピント来なかった部分（箇所）でした。
- 堤の上の桜が思っていたより小さく感じられました。また、木質舗装のところを少し歩きたかったです。
- 車中からだったので、木製チップ舗装を確認しづらかった。
- 雨のため、車中からで実感は少なかったが、カラー写真や詳しい説明の資料から、「緑の回廊」のイメージが伝わり、桜の種類も多い小枝橋公園等、今後 10 年、20 年後の変化が楽しみです。

3 三条大橋～御池大橋（護岸応急復旧、景観対策、鴨川ギャラリー）

- 昭和 10 年の大洪水を機に鴨川の河川改修が 10 数年の工事期間を経て完成、約 70 年の歳月を耐えてきたと思います。之を機に一度、護岸の総点検をされては如何です。
- 三条大橋下流での護岸損傷の詳細な原因等も説明を頂ければ、更に理解が深まったと存じます。観光客が訪れる観光の名所でもあり、今後は損傷しない強固な護岸工事をお願いしたいと思います。
- ボランティアで参加した鴨川納涼警備。当日は塀で覆われていたが、今回は身近に見られ改めて先回の台風水害のすごさを認識した。同時にこの場所がえぐられた原因を確認して再点検につなげてほしいと感じた
- 大型土嚢で緊急対策されている所に、もう少し街の風景と融和できるような取組がほしいです。例えば、黒い袋に絵を描いたりすればどうでしょうか。
- 護岸が崩れる・・・とは、自然の驚異を改めて感じた。
- 護岸の復旧進捗や予算取りの問題等については、府民会議でもご説明いただけるとありがたいです。
- 観光都市 KYOTO、世界からの観光客の目線は、都会を流れ、川と歴史、イコール美的を求める。丸太町～五条間、特に!! 川の機能と美的を考えた川作りを求む。クーラーの室外機は気になるところ。床のライン、個々では連携は改良されていた!!

- 景観対策として室外機のことを行っているのは知っていましたが、実際に川沿いを歩くと目に非常につきやすいことを知りました。対策として何が足りないのか、どうすれば良いのか、改めて検討する必要があると感じました。
- 川床の景観については、以前景観問題のメンバーで歩いたことがあり、その時の室外機の置き方や景観は、当時と大きく変わっていないように思います。更なる啓発と住民の意識に「景観こそ、京都の顔」という認識を持って頂きたいと思います。また、補助金等も支援できるなら、何らかのカタチで支援を検討しても良いのではないのでしょうか。
- 室外機については、現場でどの室外機が○でどの室外機が×なのかをご説明していただけるとよりイメージしやすかったと思います。
- 景観対策のエアコンの室外機は、床がでていたせいか、あまり目立つような印象は受けなかった。
- 納涼床が出ている期間は室外機が隠れますが、床が終わると室外機が目立つと思います。この区間の店舗の協力や意識で鴨川側は問題ないと思います。逆に木屋町通りや先斗町が雑多な店も増え品が悪くなり残念。。
- 国内外のお客様の目に留まる場所でもあり、しっかり景観対策を進めていただきたいと思います。川端通りから眺めると、左岸の植栽がうまく目隠しになっているが、まだ雑然としている所もあり、統一感のある美観を期待します。
- 以前、映画「古都」のロケを四条から三条の鴨川の河原で許可を頂き、行った折、早朝5時40分から長い時間、その場におりました。たしか11月の初旬、外国人の散歩する人が多いのに驚いたことを覚えております。自転車通勤や早朝の散歩、朝観光の鴨川で散策という定番が作れると思いました。清々しい空気で散策のスヌメもアピールすれば如何でしょうか。また、映画で鴨川をロケ現場として撮影したり、歌や漫画、小説等に登場するものも発信できる鴨川資料館の開設も土木事務所内にでも開設して頂くことを提案致します。この地域は世界各国の京都ファンが大好きです。3月にスペインで日本セミナーを担当した時にも、鴨川ファンの方が多く驚きました。川床の関心も京都人以上にあり、憧れがあるようです。
- 御池大橋右岸のスロープの手摺りの整備。
- 都心であり、京都の土地柄、美的感覚を主に、川の機能は勿論、物作りを特に意識されたし！
- 鴨川ギャラリーもギャラリーそのものだけで検討するより、橋げた、橋そのものも検討事項に入れて総合的に検討していくことをお願い致します。
- 橋の下の有効利用を目的に計画されたギャラリー。橋ごとにもう少し特色を出してはいかが？三条は若者が多く集まる場所。見せるギャラリーよりも見たくなるギャラリーに期待します。
- 三条大橋の老朽化が目立ってきました、府民会議からでも一度、橋の管理者である京都市へ、橋の整備を呼びかけてはどうか。

4 鴨川公園葵地区 整備予定箇所（車中視察）

- 車中視察。鴨川清掃時などに一度歩いてみようと思った。
- とても景観の良い場所なのに、利用者が少ないように思います。夜間照明等を検討しても良いのではないのでしょうか。鴨川デルタは川の中ですが、葵公園は地上なので安全ですから、是非ご検討ください。
- 車から見ただけでは正直、よくわからなかった。短時間でも車を降りて地区の様子や雰囲気を感じることができれば良かったと思う。
- 葵公園の整備については樹木が多すぎ、昼間でも薄暗い状況です。公園側も鴨川側も植栽の剪定と高さを低くし、鴨川と一体感の環境づくり望む。
- やはり木々がうっそうとして日暮れからは暗く危ない印象です。剪定するなど自然光が入り、見通しのよい高さにする。車道と歩道の境目が分かる（ライトが当たると光ようなもの）ようにする等の改善があってよいと思います。公園にしたりイベントをすることはなくてもいいかと思います。
- 葵地区の整備については、前回の会議で議題となっていましたので、改めて現地の状況を考えてみると、目の通りにくい、暗い雰囲気というのはよく分かりました。その一方で、その良さ、整備のしすぎによる影響がないかは、慎重に検討すること、先日の台風による木々の倒木が公園に及ぼす危険性についてもあわせて検討すべきではないかと考えました。
- 整備された暁には、公園のニックネームを公募されてはいかがでしょう。そうすれば、親しみもわき、多くの人が集えるのでは？
- この地域（下鴨神社）糺の森の延長で、緑も豊か、今回の整備では、できるだけ明るく健康的なスペースを望む。
- 台風による被害の影響もあり、より鬱蒼とした雰囲気があり、近寄りがたく感じた。折角の立地にあるので、整備され、市民や観光客たちの憩いの場となることを期待したい。
- 今後、どの様になってゆくのか、とても楽しみにしています。とても貴重なクロマツの森をもっとアピールして、能舞台を思わせる京都らしい、古風な落ち着いた公園になってほしい。老若男女の待ち合わせ場所、静かな読書、思索の場所、謡やお囃子の（鼓、笛等）練習等、野点の茶会等、イメージは様々浮かびます。

5 柁野公園

- 上流河川敷に多くの砂礫がたまっており驚いた。この撤去作業も計画中と聞き生態系環境の保全も含めて自然相手の対策の大変さを再認識した。
- 普段は人の少ない場所のようですが、自然の美しい場所で率直に山も近くて京都らしい場所だと思いました。
- 土砂、とくに砂利の堆積が予想以上に多いことに驚いた。これは、上流からの土砂流出が非常に多いことを示していると考えられる。河川環境という面からも何らかの対策が必要と思われる。

- 砂防堰堤ダムを活かした公園ですが、昨今の雨量を考慮して思い切った土砂の浚渫を早急に実施。
- バスを降りて川を眺めただけで終わりましたが、現地で見れば良いのかももう少しご説明いただければより有益だったのではないかと思います。
- ずいぶん土砂がたまって中州が川より面積をしめていました。今後また豪雨が来たとき、水の流れがスムーズにいくよう撤去が必要と思いました。以前の会議でもありましたが、上流の森林から検討することが必要かと思います。
- 柵野公園を初めて知りました。公園としては少し立ち入りにくいような気もしましたが、たまたま当日の状況が影響していたのかもしれない。ただ、整備状況がよいか？と問われると、少し疑問を感じる部分はあるように思います。
- 堆積された土砂の量に驚きました。これが毎年続くようであれば、根本から考えをしないような…。堆積土砂を有効利用できないかどうか？
- 石の多さにびっくりした。河川沿いにあるため冠水のしやすさは悩ましいが、日常生活への影響はさほどないのでは…と感じた。
- 平時は子どもたちのグラウンドとして、また災害時は溜池のように浸水して水を逃がす場所として、このように多様な役目を果たす場所が、上流に何力所があれば、町の中の被害は随分軽減されるのではないのでしょうか。平時にスポーツ等に有効利用できることは大きな魅力です。
- 大水の時、下流への土砂を、このダム（柵野）で食い止めて！！

6 鴨川上流域（視察は中止）

- 写真で見る限り多くの木々が倒壊。現場視察できなかつたのは残念。
- 上記5と関連して、上流域がどのような状況か、大変興味があったが、台風の影響で中止になったのは残念であった。今後、機会があれば、是非、視察させていただきたい。
- 台風や大雨、近年の環境条件の変化により、河川氾濫の危険とともに崖崩れ、木々の倒木など交通網への影響が大きくなっているように感じる。
- 台風21号の影響で視察は無理であったが、資料によると鴨川沿いの多くの山々が崩落と倒木の状況です。今後の検討事項として
 - * 崩落防止策の検討(森林関係者からの意見の拝聴等)
 - * 倒木が流木となって下流に流れる防止策について。
- 案として
 - ①一定期間、流木止めの設置を検討
 - ②河川区域内の倒木の除去等
- 民間の土地の倒木が川に流れ込んだ、風で吹かれた枝等が川に入って、そしてそれが流れの支障になって大雨の時に洪水にならないように、どうすればいいのでしょうか。
- 機会があればゆっくと棧敷ヶ岳周辺から源流も見てみたいと思います。また、その近くの村の人たちから川についての思いを聞いてみたいと思います。(水についての)

7 北山大橋下流左岸 遊歩道試験舗装箇所、半木の道

- 加茂街道の倒木はもちろん、中でも半木の道の可憐な紅枝垂れ桜の痛々しい姿には、言葉を失った。風の恐怖と威力を見せつけられ、これからも毎年のようにやってくるだろう台風を思うと、この場所は今後、どのようになるのだろうかと不安になります。
- 並木の損傷に驚いた。ライオンズクラブを中心にどのように復興されるか心配。
- 紅しだれ桜の棚については従来の竹を鋼管に変更し茶系の色。
- 金閣寺垣については以前に府民会議の議案にあった様に擬木と麻縄での造作が良いと思う。
- 桜を支える鉄の支柱がコンクリートごと、地面からはがれていました。今後、支柱を支えるコンクリートはもう少し広くて大きい面積で工事をされれば今後の大型台風にも耐えられるのではないのでしょうか。ご検討ください。
- 今後も続くであろう気候変動を考えると、枝垂れ桜の桜のあり方、必要性など考える必要があるのでは？
- 半木の道はサザンオールスターズの桑田さんが大好きで、以前に半木の道のことをサザンが歌っているのではないかという新聞記事をサザンのマネージャーにメールでお送りしました。丁度、全国ツアーのスタートの日で、とても喜んでおられました。また、最近、サザンが京都を大好きだという記事もお送りしましたら、とても喜んで頂きました。影響力のある方の京都が大好きという話題は波及していきますので、有難いことです。
- 鴨川の持つ魅力や京都の顔としての鴨川を更に整備をして、多くの方にアピールできるようにお願い申し上げます。京都の方でも、半木の道のことやイベントをご存じない方も多いです。
- 鴨川の半木の道、桂川の嵐山、共に川辺にある場所で多くのファンがおられます。鴨川だけでなく、川辺フェスティバルのようなイベントも地域住民と一緒に開催できれば、話題性もあり喜ばれると思います。
- 半木の道と植物園とコラボするような、イベントも春だけでなく、新緑の季節等も検討して頂きたいと存じます。
- 半木の道の枝垂れ桜と棚の痛々しい姿でした。市民の協力を得るなどして桜のシーズンまでに復旧できることを願います。歩道のカラーサンドはいいと思います。京都マラソンで大勢が走るのは耐えられるのでしょうか。散歩の人には不都合ありませんがランナーの意見も聞いてみるとよいかもしれません。
- 試験舗装を実際に確認できたこと、質疑応答があったことはとても良かったです。業者が来られるのであれば、事前にアナウンスしておいていただくと質問事項等を考えて臨むことができたのではないかと思います。
- 現場で土系舗装、石舗装、スラグ舗装と比較できわかりやすかった。ただ説明雰囲気はやや会社の宣伝売込みのように感じられたし、やり取りが全く聞き取れず退屈した。説明方法課題と感じました。メリットばかり説明あったがデメリットは？価格など。

- 遊歩道の舗装については、バリアフリー、災害対策、暑さ対策、耐久性、価格等から検討して決定して頂きたいと存じます。パンフレットを拝見してもSANWAカラーサンドが良いように思いました。このカラーサンドは地震には強いのでしょうか。
- 遊歩道試験舗装箇所では新しい工法による舗装について詳しい説明を受けた。一般的な遊歩道では、浸透性の高い工法は、環境面でも有効だと思われる。なお、浸透する雨量が少ないのならば問題はないが、河川べりで透水性、浸透性が高いことは、川の護岸に対して何らかの影響を及ぼさないのか、少し気になった。
- 遊歩道(土系歩道)良いと思う、但し、もう少し期間をおいて観察
- イベントの時に足下が汚れるのを防止するために舗装するという計画なら、撤回してほしい。
- かなり台風の影響が大きいと感じました。遊歩道試験舗装については、別で何度かカラーサンドの舗装を見たことがあったので、水辺には適材なのではないかと考えます。半木の道が元の美しさを早く取り戻せれば良いのですが…
- 色も明るく上品に感じた。ただ、排水に関し、新しいときは、その排水機能は良いが、日数が経つと、細かいゴミが蓄積し、機能が生かされず、コストの面を感じた。
- 新しい工法等を実際に試すことは素晴らしいことだと思います。その結果の公表と講評をネット等で見られるようにしていただければどうでしょうか。
- 半木の道の桜の被害は想像以上だった。植物に関しては補助金対象外というのは驚きだった。遊歩道舗装に関しては良いと思う。1点気になったのは、子連れで散策する方も沢山いると思うが、こけたときの影響はどうなのかということである。コンクリートを含むということだったので、こけたときの損傷程度が土よりも大きくなる可能性はないのか疑問に思った。

◆ その他

- タクシーバスでしたが、鴨川の下流から上流まで視察出来て、現場状況の理解が深まり今後府民会議での検討課題に大変参考になった。同時に広範囲に管理されている河川課の皆さんのご努力を思い知りました。運搬手段、資料作成などお世話になりました。ありがとうございました。
- (車中視察について) 今回の調査メンバーは全員前年度からの継続メンバーでしょうか。もし新メンバーがいらっしまったのであれば、事前の資料配布もないまま車中で見てもよく分からなかったのではないかと思います。
- 視察する場合の事前勉強があれば、もっと良かったのではないのでしょうか。雑駁な意見で申し訳ございません。今後も視察を実施して、現地現場で現状を知ることはとても良いことだと存じます。
- 時間配分も良かったと思います。